

150th Anniversary 清央小だより



令和6年度 第19号
2024. 10. 21

教	育	目	標
育	目	標	
育	目	標	
育	目	標	

※本たよりの本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。
※ホームページに掲載するため、画像は一部加工することがあります。

令和6年度 2学期が始まりました

2学期が始まりました。2学期始業式では次のようなこととお話ししました。

【学校はスクールバス】

学校を、スクールバスに例えます。スクールバスは、皆さんを乗せて、安全に目的地に着かなければならないという使命があります。

児童には、学校には「考える 鍛える 思いやる」という目標（目的）に向かって毎日の授業や学校生活があります。皆さんは「クラス」という「バス」に乗っていて、「担任の先生」という「運転手さん」がいます。運転手さんは、目的地である学校の目標に向かうために、学級の目標を決めて運転しています。安全に目的地に向かいたいのですが、もし、バスに乗っている皆さんがバスの中で問題を起こしてしまったら、どうなるでしょう。そのたびにバスは止まって安全が確認されるまで発車できなくなります。運転手が運転に集中できないと道を間違えたり、事故を起こしたり、場合によっては引き返したりすることになってしまうかもしれません。そうすると目的地、つまり学校の目標にたどり着けなくなったりしてしまうかもしれません。それではよくないですね。

今まで、いくつかの行事なども通して、クラスのお友達とも慣れてきたと思います。ぜひ2学期は、クラスの団結を高めてください。遠足や修学旅行、長縄大会などクラスで活動する場面はまだあります。自分でできることを考えて、今よりもっとよいクラスにしていきたいと思います。



この「スクールバスモデル」は、志水宏吉著作の「公立学校の底力」で紹介されており、今回は、それをアレンジし乗客を児童としてお話ししました。

著書の中では、バスそのものを学校と仮定し、教師をはじめとする学校全体のあるべきモデルとして紹介しています。そこでは、例えば4つのタイヤはそれぞれ、前輪右は学びを支える「学習指導」、前輪左は豊かにつながりを生み出す「児童生徒指導」、後輪右は双方向的な「家庭との関わり」、後輪左はともに育つ「地域や校種間連携」と示されています。どんなにエンジンや運転手が優秀でも、タイヤがないと走れません。つまり、学校が目標*に向かって進んでいくためには、保護者や地域の皆様は必要不可欠ということです。2学期も、収穫祭や清央祭など、様々な場面でかかわる場面が多いと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

* 学校が進んでいく目標とは、学習指導要領の内容であり、ひいては教育基本法にある「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」ということになります。

◆150周年記念行事関係◆

始業式の日、PTA主催で児童全員の集合写真と各クラスの写真撮影をしました。また、校舎全体の様子をドローンで撮影しました。これらは、150周年記念行事関係で、クリアファイルやDVDの作成に使用します。また、クラス写真は、後日販売もあるとのこと。児童の皆さん、とてもよい笑顔で撮れていますので、どうぞお楽しみに！

また、18日(金)のPTA常任理事会では、12月7日(土)の「清央祭」に向けた進捗状況が報告されました。皆が楽しめるイベントとなるよう、執行部の皆様も一生懸命取り組んでおりますので、各方面でのご協力をよろしくお願いいたします。

